

遠洋かつお・まぐろ地域漁業復興プロジェクト(女川①)

事業実施者：日本かつお・まぐろ漁業協同組合

使用船舶名：第1明神丸(395トン)

支援期間：平成25年1月10日～平成28年1月9日

(遠洋まぐろはえ縄漁業)

(取組の内容)

- 操業形態の合理化：冷凍機のアンロード制御及びインバータ制御、PBCF(プロペラ・ボス・キャップ・フィン)、防汚船底塗料による低コスト型新船の導入
省エネ運転による操業コストの削減
- 労働環境の改善：セントラルクーリングシステムの採用、ILO基準に準じた船室の設置、メンテナンス作業時間の削減や快適住環境の整備
- 作業の安全性の向上：燃油タンク内の制油版、放水口及びビルジキールの増設並びに転落事故防止措置の設置等による船及び作業の安全性の向上
- 震災復興への貢献：気仙沼への漁獲物の水揚げ、同地域での燃油、餌、食糧等の積み込み
- 無店舗方式による販売：宮城県内の飲食店等への－60℃ストッカーを貸し出し冷凍まぐろ販売を委託する無店舗方式販売



(事業の成果)

- 燃油使用量は、計画より約2%(843kl→857kl、3年平均)の増加となったものの、2年目・3年目は計画より減少した。
- 労働環境及び作業の安全性が向上した。
- 復興3年目で償却前利益31百万円を確保した。
- 気仙沼で漁獲物の一部を水揚げ、燃油、餌、食糧等の積み込み、無店舗方式による販売を実施した。津波被害を受けた気仙沼地域へマグロを供給するとともに、地域経済の活性化に貢献した。